

技術の名称 **警告システム、看護業務における警告システム**

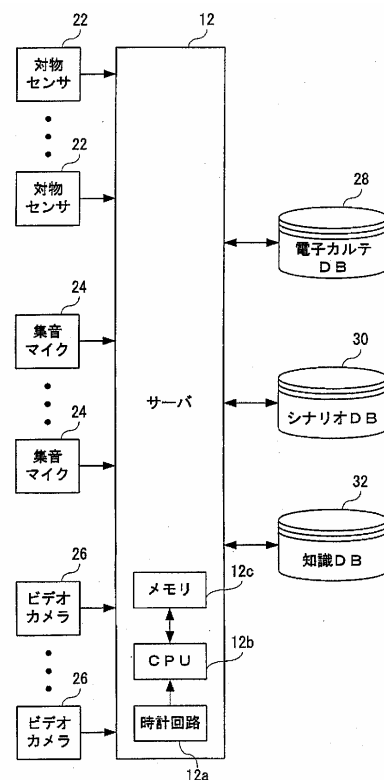
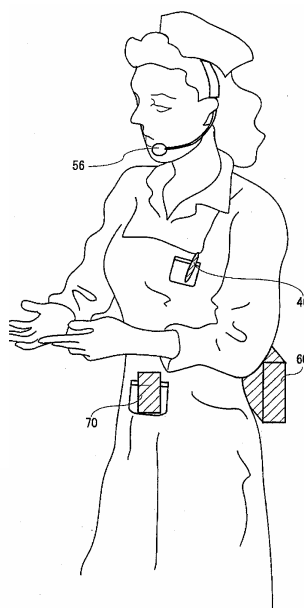
適用分野 作業現場、医療現場

■ 目的 作業、医療行為などを遂行するための個々の業務項目のうち、予め定められた実行順序のうち、絶対に実行順序を間違ってはならない場合のみ警告を発し、実行順序を間違っても支障のない場合は警告を発しない。

■ 効果 本発明によれば、予め定められた業務項目の実行順序のうち、絶対に順序を間違ってはならない場合にのみ警告を発するので、警告には確実に服従することとなり、警報慣れによる作業ミス、医療ミスをなくすることができる。

■ 技術概要
特記事項、図など

看護師は看護師の動作を検知するセンサ46と看護師の声を集音するマイク56とを装着しており、一方、サーバ12にはこれらのセンサ46、マイク56からの信号がインプットされると同時にシナリオDB30が連なっており、このシナリオDB30には複数の業務にそれぞれ対応する複数のシナリオが記憶されており、サーバ12は看護師がシナリオDB30のうちのいずれかを開始したとき、その業務に対応するシナリオをDB30から読み出し、看護師がそのシナリオに定められた作業順序通り作業しているかを監視すると共に、作業順序を誤ってはならないケースに該当したときのみ、警告を発する。



■ 主たる提供特許 特許等の名称 : 警告システムおよび警告方法
 登録番号 :
 出願番号 : 特願2006-180984 出願日 : 平成18年6月30日
 公開番号 :

■ 実施実績 ○有、無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
 〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
 TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp